

いのちと地域を守る 毎月11日掲載

防災・減災のページ

あたりまえ体操防災バージョン



お笑いネタ活用 心構え体で覚える

あたりまえ防災の歌詞

あたりまえー あたりまえー あたりまえぼうさい
地震のときはー 「だんごむし！」
あたりまえぼうさい
忘れちゃいけないー 「あたまを守る！」
あたりまえぼうさい
逃げるときに大切なのはー 「くつ！」
あたりまえぼうさい
海の近くで地震がきたら 「とにかくにげっ！」
あたりまえぼうさい
どこににげっべー 「はやく！たかく！」
あたりまえぼうさい
「命を捨てない」「倒れてこない」「移動してこない」
「命を守る」
あたりまえー あたりまえー あたりまえぼうさい
「がんばっぺーす！」

子どもの防災意識養うユニーク教育



納口 崇明さん

正しい知識 楽しく

「子どもに防災意識を養うには、まず正しい知識を伝えることが重要です。」と話すのは、東京府立大の防災教育推進委員、納口 崇明さん。納口さんは、防災教育推進委員として、全国各地で防災教育の普及に取り組んでいます。特に、子ども向けに、防災知識を楽しく伝えるための教材を開発し、各学校で活用されています。納口さんは、防災教育の重要性を説き、子どもたちが災害に備えるための知識を身につけることが、地域を守るために不可欠であると訴えています。

科学への関心喚起 ナダレンジャー



「ナダレンジャー」は、防災教育の重要性を説き、子どもたちに正しい知識を伝えることを目的とした教材です。この教材は、子どもたちが災害に備えるための知識を身につけることを目指しています。また、科学的な視点から災害の原因や発生メカニズムを説明し、子どもたちの科学への関心を喚起しています。ナダレンジャーは、子どもたちが防災知識を楽しく学べるための教材として、各地で活用されています。

津波にのまれ漂流1.2キロ



津波にのまれ漂流1.2キロ

必死の笛 救助呼び込む



野田 和好さん

「必死の笛」は、津波発生時に救助を呼び込むための音信号です。この音信号は、津波発生時に発生し、救助隊に救助を呼び込む役割を果たします。また、この音信号は、津波発生時に発生し、救助隊に救助を呼び込む役割を果たします。また、この音信号は、津波発生時に発生し、救助隊に救助を呼び込む役割を果たします。

伝える

津波発生時に発生し、救助隊に救助を呼び込む役割を果たします。また、この音信号は、津波発生時に発生し、救助隊に救助を呼び込む役割を果たします。

探る

文献に残る最古の津波

「古代ギリシャで被害記録」として知られる最古の津波記録は、紀元前450年代に書かれた歴史書に記されています。この記録によると、ギリシャの海岸に大きな津波が押し寄せ、多くの犠牲者を出したとされています。この津波の原因は不明ですが、地震によって発生したと考えられています。この記録は、津波の脅威を伝える貴重な文献として、後世に受け継がれています。

古代ギリシャで被害記録



現場から

津波発生時の現場から得られた情報は、防災対策に重要な手がかりとなります。現場からの情報は、防災対策に重要な手がかりとなります。

迅速誘導念頭に防災訓練

防災訓練は、災害発生時に迅速な対応を行うための重要な取り組みです。迅速な誘導念頭に、防災訓練が実施されています。迅速な誘導念頭に、防災訓練が実施されています。

災害発生時の対応は、迅速な行動が求められます。迅速な対応が求められます。

交流サイト使い安否確認

災害発生時には、交流サイト（SNS）が安否確認の重要な手段となります。SNSを活用して、安否確認が行われています。SNSを活用して、安否確認が行われています。



東日本大震災後、交流サイト「フェイスブック」を活用し、災害時に学校の被害状況を生徒に知らせることにしました。無事だった生徒には携帯電話などの画面から「いいね」のボタンを押してもらい、安否を確認しています。